

むらかみ

市議会だより



第65号

令和3年8月15日



【特集】 常任委員会事務調査 …………… 2～3ページ

第2回定例会

 市政を問う!! 11人が一般質問 …………… 4～10ページ

 委員会の審査報告…………… 11～13ページ

 議決結果…………… 14ページ

会派の結成状況…………… 10ページ

令和2年度政務活動費の交付実績…………… 15ページ

インタビュー…………… 16ページ

市民の宝 輝く瞳

みこまい
巫女舞 祭儀は粛々と

村上大祭（国重要無形民俗文化財）

昨年に引き続き村上大祭の屋台引き廻しを断念。雨模様の7月7日、神輿を外に出すことはできず、神輿収納庫前での神事となりました。お祓いや巫女舞を奉納し、羽黒神社から先太鼓を先頭に宮司、神職、総代らと共に19町内を巡行しました。

来年こそは開催できるようにと思いを込めて。

所管事務調査

市議会では定例会中の活動のほか、各委員会が自主的にその委員会が所管する事務について調査する「所管事務調査」を行っており、定例会が開かれていない閉会中の調査については、閉会中事務調査とも呼ばれます。

委員会ごとに調査事項を決めて、市政における課題の把握や、その解決に向けて調査を行い、市長等の執行機関に対し具体的な政策や施策を提案するものです。

総務文教 常任委員会

コロナ禍の地域スポーツは

昨年から続くコロナ禍によって、市内5つの総合型地域スポーツクラブがどのような影響を受けているか調査を行いました。

自主財源の確保に苦勞

市民のスポーツ参加、体力の維持向上の基盤づくりに重要な役割を担っている同クラブですが、コロナ禍の中、事業の相次ぐ中止や、会員の減少など自主財源の確保が大変であるとのことでした。また、職員の育成や技術指導等取り巻く環境に苦慮している実態も明らかになりました。

スポーツイベントの中止や学校部活動の縮減など、市民の健康を維持する機会が奪われる中、運動不足の解消を重視しながら、密を避け感染リスクを回避する新たなルールづくりも必要です。5つの同クラブと学校、行政そして地域が連携に努めて、スポーツを取り巻く環境の早急の改善

を図らなければなりません。
学校と地域の融合型部活動

学校部活動改革については、学校から地域への移行の取り組みの中で、神林地区では国のモデル事業として、学校と地域の融合型部活動をスタートさせています。柔軟な発想で、今できる最善策を模索しながら始動したこの先行事例を基に、誰のために行うの情報共有し、今後5つの同クラブが連携し、学校、生徒、保護者、そして地域が相互に信頼関係を築くことが重要であると感じました。



総合型地域スポーツクラブの5名と意見交換

市民厚生 常任委員会

看護・介護人材不足の現状は

看護や介護の現場での人材不足の調査のため、各所管課から聞き取り調査を行った後、看護2事業者、介護7事業者との意見交換会を行いました。
深刻な看護職員の離職率

看護職員や介護職員の人材不足の深刻な実態と、その解決策として各事業者から要望や意見がありました。看護人材不足の実態として、2025年には看護職員が6万〜27万人が不足するといわれています。統計では、看護職員の就業数が順調に右肩上がりになっているものの、人材二丁ズの多様化や、慢性的な人材不足による離職率の深刻化がつかげえます。

職員確保対策としては、本市独自の奨学金制度の確立、県のナースバンクとのマッチングによる有資格者へのアプローチ等を重視すべきとの意見がありました。

外国籍職員の受け入れも

介護職員の人材不足は、団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、県内でも約4千人の人材が不足するといわれています。

人材確保策のため、外国籍職員の採用や離職させない職場環境づくり、介護ロボットの導入、市内各事業所との情報共有の必要がある旨の意見がありました。

今回、各事業者がつながりを持ち、誇りを持って仕事に打ち込んでいける事を感じ、今後の施策に生かしていきたいと思えます。



看護・介護事業者の14名と意見交換

務調査

あなたの声を聴き 地域の課題をさぐる 常任委員会の所管事

経済建設 常任委員会

滝矢川改修工事の進捗は

普通河川滝矢川改修事業の進捗状況の調査のため、現地において、建設課長ほか担当職員から事業の経緯と現状について説明を受けました。

平成17年度に工事着手

当事業は平成17年度に地元より改修要請があり事業着手したもので、事業計画の総延長445・2mのうち、245・3mがまだ未施工となっており、工事の進捗が遅いため、本年2月に平林集落区長さんが代表となり、工事の早期完成への陳情が議会に提出されました。

限られた工事可能な期間

調査の結果、事業が進まない原因は、予算の確保もさることながら、周辺の水田の作付けに影響を及ぼさないことや、仮設による水替え作業により工事を実施するため、梅雨時等の降水時には大雨による越水の危険もあり、1年の中で工事可能な期間が限られ

ており、年間に完成できる施工延長が限定されてきたことが、大きな要因であることが確認できました。また、一部の箇所において地権者間の土地境界が確定に至らない箇所があり、改修工事の進捗や施工順序に影響していることも説明を受けました。

住民への丁寧な説明が不足

今まで、これらの事実を地域住民に明確に説明されていなかったことで、地域からは越水に対する危機感から早期完成の要望が継続的になされていたもので、今後は地域に対して丁寧な説明が必要であると感じました。



平林地内の滝矢川改修事業現場

常任委員会名	調査日	内 容
総務文教	4月21日	さんぽく会館改修工事の概要について 〈場所：さんぽく会館〉 説明員：生涯学習課
	5月13日	コロナ禍における各スポーツクラブの状況について 〈場所：村上市役所〉 出席者：希楽々、ウェルネスむらかみ、サンスマイルあらかわ、愛ランドあさひ、さんぽくスポーツ協会 説明員：生涯学習課
市民厚生	4月22日	現場の介護人材及び看護人材不足の実態調査について 〈場所：村上市役所〉 出席者：新潟県看護協会村上支部、新潟看護医療専門学校村上校、村上岩船福祉会、村上市社会福祉協議会、岩船郡村上市民宮福祉会、ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟、下越地域若者サポートステーション、村上地域シルバー人材センター、新潟リハビリテーション大学 説明員：保健医療課、介護高齢課、福祉課
	5月19日	障がい者の就労支援と雇用状況について 〈場所：村上市役所〉 説明員：福祉課
経済建設	5月14日	普通河川滝矢川改修事業について 〈場所：滝矢川改修工事箇所〉 説明員：建設課、神林支所産業建設課
		瀬波船だまり付近の航路しゅんせつについて 〈場所：瀬波船だまり付近〉 説明員：農林水産課
		村上浄化センター改良工事の進捗状況について 〈場所：村上浄化センター〉 説明員：上下水道課

市政を問う!!

11人が
一般質問

一
般
質
問
(1)

6月11日・14日・15日の3日間の日程で行われた一般質問に11人の議員が登場しました。

質問および答弁の要旨を質問順に掲載します。

一般質問の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。

1 上村正朗議員 **5**

1. 支え合いのまちづくりについて
2. アルコール依存症を始めとするアルコール健康障害への取組について
3. 新潟家庭裁判所村上出張所の機能強化について

2 木村貞雄議員 **5**

1. 農業問題について
2. 利用しやすい公共交通について
3. 本庁舎前看板の整備について

3 稲葉久美子議員 **6**

1. 新型コロナウイルス感染症の対応について
2. 小・中学校における新型コロナウイルス感染症対策について
3. 農業を生かした中山間地の活性化について

4 山田 勉議員 **6**

1. 交通安全対策について
2. 都市計画道路「環状3号線」の早期開通促進について
3. 人口減少問題への取組について

5 姫路 敏議員 **7**

1. コロナ禍の経済対策について
2. まちづくり協議会について
3. 村上市の公用車について

6 本間善和議員 **7**

1. 山北中学校体育館の雨漏りについて
2. コロナ禍における危機管理について
3. 村上市ゼロカーボンシティの表明について
4. 旧香藝の郷美術館の利活用について

7 富樫雅男議員 **8**

1. コロナ禍での経済支援策について
2. 感染症対応、感染防止対策について

8 河村幸雄議員 **8**

1. 部活動の在り方について
2. 子どもたちの体力向上への影響について

9 長谷川孝議員 **9**

1. コロナウイルス感染症に係る公表の在り方について
2. 村上市・胎内市沖洋上風力発電事業における本市の考え方について

10 高田 晃議員 **9**

1. 人工芝多目的グラウンド建設計画について
2. 村上市ファミリーサポート制度について
3. 新型コロナウイルス感染拡大防止策の検証について

11 鈴木好彦議員 **10**

1. 行財政改革について

一般質問とは？

一般質問は、議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告、説明を求めるものです。

定例会ごとに行われ、質問順は抽選で決定しています。

※紙面の都合で質疑内容の一部を掲載しています。詳しくは、中央図書館に備え付けの会議録や、市ホームページから本会議の録画中継をご覧ください。



村上市 議会中継
<https://www.city.murakami.lg.jp/site/shigikai/gikai-chukei.html>



クリック!!

暮らしを支える仕組みを



上村 正朗 議員

問 「互近所さえさえる隊」の設立に向けた取り組みを強化すべきでは。

答 平成29年度から生活支援と介護予防に重点を置いた地域づくりの仕組みを、市内の全行政区に設置することを目標にして取り組んでいる。引き続き、まちづくり協議会や地域の団体と連携を図りながら取り組みを進めていきたい。

問 まちづくり協議会が支え合いの仕組みづくりに積極的に取り組むことが重要では。

答 支え合い活動の推進母体である「互近所さえさえる隊」の検討会議にまちづくり協議会の会員や事務局が参画しているほか、実際の活動においても連携して取り組んでいる。



市民の権利を守る「身近な司法」の充実が必要

問 社会福祉協議会の体制強化が必要ではないか。

答 コミュニティソーシャルワーカーの配置や社会福祉協議会の体制強化は、「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」の策定委員会で、計画に位置付けるかも含めて検討される。

問 アルコール健康障害対策を総合的に実施すべきではないか。

答 適正飲酒の普及啓発や保健指導、相談や回復支援は従来から取り組んでおり、今後も関係機関と連携しながら総合的に取り組んでいく。

問 新潟家庭裁判所村上出張所の機能強化に向けて取り組むべきでは。

答 現状のデータを収集した上で、関係自治体と連携しながら要請を行っていく。

料金が一律な公共交通を

問 胎内市では、料金が一律300円で利用できる予約制のりあいタクシーを県内で一番早く実施している。財源として市民税を充てるため距離は関係なしとの考え方である。本市でも一部の区域で試験的に取り組んでみてはどうか。

答 市民生活の移動手段を確保するためには、新たな手法を含め、市内全域が有効なのか、エリアごとに異なるシステムが有効なのか、交通事業者との意見交換を踏まえ、実情に合わせた検証は必要と考えている。

問 令和3年度の路線バスの負担額や保育園バス・スクールバスの委託



利用しやすいのりあいタクシーを



木村 貞雄 議員

経費を合わせると多額な予算となる。コロナ禍で市内のバス会社やタクシー会社は大変苦労している中で、その予算で地元の業者を育成するための抜本的な改革を研究してはどうか。

答 スクールバスを路線バスと競合させながら、コミュニティバスとして運用できないかということの取り組みを進める。また、予約制のりあいタクシーについては、乗り越えなくはならない障がいはあるが、全域で行えば良いのかエリア限定が良いのかということころを、ようやく議論ができるようになってきており、直接タクシー事業者とも話をしている。市民の利便性の向上の観点から利用しやすい公共交通にたどり着きたいと思っている。

国保の「傷病手当金」

問 コロナ感染症からの回復に向けた自宅療養、宿泊療養、入院療養について、本人や家族への対応における国や県の取り組みへの所見は。

答 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において、国、県の責務が明記されているので、それぞれの立場での役割を果たしていると認識をしている。

問 休業に伴う補償と国民健康保険の傷病手当金などはどのようになっているか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により休業を命ぜられた労働者のうち、休業手当の支払いを受けるこ



コロナ対策として設置された二酸化炭素濃度測定器(CO₂センサー)



稲葉久美子 議員

とができなかった方に対しての支援制度として「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金」がある。村上市国民健康保険の傷病手当金は、令和2年4月に条例の一部を改正し、被用者で新型コロナウイルス感染症に感染した人や感染が疑われる人が、仕事をすることができなくなった場合に傷病手当金が支給できる制度になっている。現段階では申請はないが感染拡大防止の観点からも被保険者が感染した場合に休みやすい環境を整備することは重要と考え、市民への周知に努めたい。

問 CO₂センサーの設置場所は。

答 全ての小・中学校の普通教室と教務室等への配置を予定している。また、持ち運びが可能であるため、特別教室を利用する際には、移動させて使用することを考えている。

信号機の設置を早急に



山田 勉 議員

問 国道7号と市道坂町切田3号線の交差点改良と信号機設置を要望する考えは。

答 当該交差点は、国が計画している一般国道7号中条黒川バイパスの現道拡幅による4車線化区間内に位置しており、交差点改良は4車線化と併せての対応となると考えている。また、歩行者信号機の設置要望を令和2年度に村上警察署を通じて県公安委員会へ行っているが、3年度設置計画はないとの答えをいただいている。

問 瀬波温泉トンネル先線の計画が進行していない原因は。

答 未整備区間の事業化を、これまでも県に強く要望してきたが、県では道路整備の必要性や効果の客観的な



瀬波温泉トンネル先線の早期開通促進を

整理が必要との考えであり、なかなか進展しない状況である。事業化の重要性について整理し、引き続き要望していく。

問 日下地内にある創設非農用地の今後の活用方法と利用計画を第3次村上市総合計画に盛り込む考えは。

答 第3次村上市総合計画の策定については、本年5月28日に村上市総合計画審議会に諮問を行ったところである。まずは審議会の議論の状況を注視しつつ、人口減少をはじめとする本市の課題に対し、土地の活用を含め、さまざまな観点からご意見をいただきながら、具体的施策や事業につなげていかなければならないと考えている。

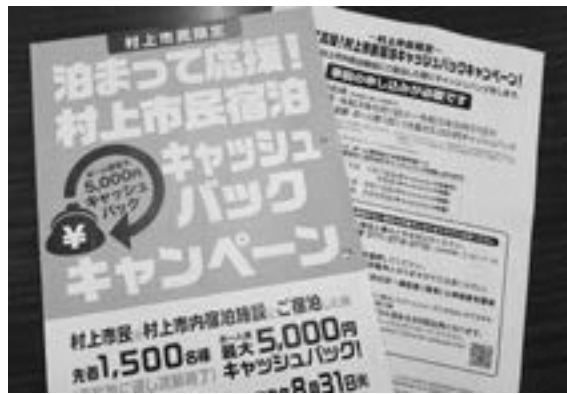
コロナ禍の経済支援



姫路 敏 議員

問 コロナ禍において村上市の経済支援について聞きたい。

答 昨年度から多くの経済支援を行ってきた。現在行っているのは「村上市雇用を守る企業支援金」として「雇用調整助成金」と「緊急雇用安定助成金」を活用している事業所向けに補助金を交付している。この政策も、申請期限を6月30日から7月30日まで延長し、6月からは、雇用調整助成金等の支給決定額が現在100万円以上としている要件を10万以上と緩和し、比較的助成額の少ない事業所も申請できるようにした。他に「感染拡大防止徹底プロジェクト事業補助金」や「がんばる事業者応援金」を実施している。また3月



経済支援策の一つ 村上市民限定の宿泊割引キャンペーン

から実施してきた「村上市民限定の宿泊施設利用者に対する割引キャンペーン」も、6月からは条件を緩和してより使いやすくしている。今後も市内経済を注視しながら有効な経済対策を行っていく。

問 現在、村上市には約31億円の財政調整基金がある。2年前には約17億円であったのが、ここに至って倍になっている。これはコロナ禍で実施してきた支援策は、国の臨時交付金により賄いができたからである。今後はこの基金を使って企業に設備投資を促し「大胆な補助金制度」を確立し、企業を刺激して設備投資による経済活性化を狙うべきである。

答 今後さまざまな議論を通じて検討していく。

雨漏りの改修予定は

問 山北中学校体育館の雨漏りは長期間続いているが、現状とこれまでの経緯、今後の改善に向けたスケジュールは。

答 体育の授業で使用する場合には、水滴が落下していないスペースで授業を行い、状況によっては保健体育の授業に振り替える対応をしている。これまで雨漏り対策として部分的な防水工事や改修工事、結露を防ぐための換気扇の設置、体育館の大規模改修工事の実施に伴い、屋根全体にウレタン塗膜を密着させる防水工事を行っているが、抜本的な改善には至っていない。今後の改善に向けて



山北中学校の雨漏りの状況



本間 善和 議員

現在、施工業者による点検・調査を実施している。その調査結果を受けて学校の教育活動に支障を生じないよう対策を検討する。

問 6月4日に「村上ゼロカーボンシティ」を表明したことは、今後の世代のために非常に重要なことと思う。二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す今後の取り組み等は。

答 ①森林資源を利用したカーボンオフセットを導入し、温室効果ガス吸収量の増加を図る。②民間発電事業者と連携した公共施設等での再生可能エネルギーの利用促進を図る。③バイオマス資源を原料としたごみ袋を導入するなど実効性のある地球温暖化対策に取り組むことで、かけがえない豊かな自然と、より良い環境を次の世代に引き継いでいく。

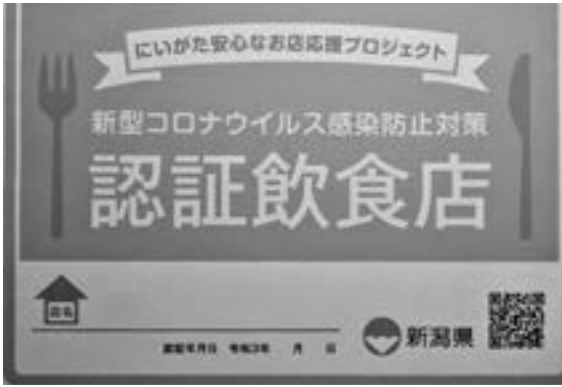
感染症の対応と防止対策は

問 公共施設の感染防止マニュアルの周知について伺う。

答 所管省庁、関係団体が作成する業種別ガイドラインを市と関係者で活用・共有し、その上で感染認定看護師や新潟大学大学院特任教授の指導等も活用し、最新の感染対策ができるよう対応している。

問 施設関係者に感染が確認された場合の具体的、時系列的な業務手順書は作成されているか伺う。

答 本市の施設関係者に感染が確認された場合は、本人または保健所から施設管理者に連絡が入り、直ちに対策本部に報告することになってい



「認証飲食店」ステッカー(新潟県福祉保健部生活衛生課提供)



富樫 雅男 議員

る。市は保健所の調査に必要な情報提供するなどの協力を行い、接触者の特定を進め、保健所の指導に基づいて消毒などの対策を講じている。

問 市内感染者の情報開示が的確でないと考えますが、今後の対応を伺う。

答 県の公表内容に基づき情報を公表している。県の公表内容は感染拡大防止に必要な範囲で、人権の尊重と個人情報保護に配慮した公表基準になっている。引き続き、感染者ご本人の同意を得た上で、市民の安心・安全のための必要な情報の公表に務める。

問 公共施設、事業者の感染防止対策の推進について伺う。

答 県が6月に開始をした飲食店を対象とした感染症対策認証制度を十分に活用し、事業継続が確実なものになるよう支援する。

休日の部活動 地域移行へ



河村 幸雄 議員

問 部活動指導員の配置状況は。

答 令和2年度は全ての中学校に1人ずつ計7人を配置した。今年度も7人の予定であるが、現時点では5人の配置となっており、未配置の2校については、引き続き募集をしている。部活動指導員は単独での指導や大会等の引率が可能で、配置された学校については、教員の業務負担軽減につながっている。

問 中学校の運動部活動の現状は。

答 全ての中学校で生徒数や教員数の減少により、従来の部活動の種目を見直さざるを得ない状況になっており、生徒の多様なニーズに応えることができない状況である。学校と地域が連



村上第一中学校のグラウンド

携した部活動の推進体制づくりが必要となっている。

問 休日の部活動を段階的に地域移行することだが、本市の取り組み状況と進捗は。

答 地域部活動の管理運営や大会への参加の在り方など多くの課題はあるが、関係者の思いや願いを調整するための会を重ね、5年度からの段階的な地域への移行に向けた環境整備に努める。また、スポーツ庁の委託を受け、NPO法人希楽々が取り組んできた「運動部活動改革プラン委託事業」の成果を、今年度は市教育委員会が新潟県から委託を受けた「地域運動部活動推進事業」を通じて市内に普及し、休日の地域部活動の実現に向け取り組んでいく。

新産業の創設 洋上風力発電



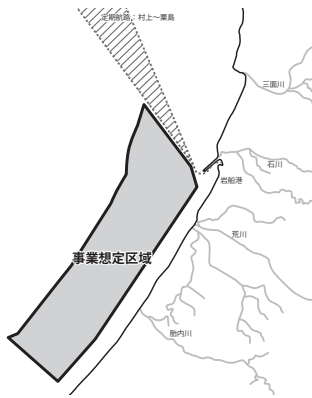
長谷川 孝議員

問

本市は6月4日に2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すとした村上市ゼロカーボンシティの表明を行った。カーボンニュートラルの実現に向けて期待されている洋上風力発電は、その円滑な導入に向け再エネ海域利用法により、必要な海域占用のための仕組みが整備されてきた。村上市・胎内市沖洋上風力発電事業については、7月頃にも促進区域の前段階となる「有望な区域」に選定される可能性がある」と報道されている。両市にまたがる事業想定区域となるため、課題もあると思うが、新産業と雇用を生み出す総合戦略について市長に伺いたい。

答 「有望な海域」に選定

されると、「海洋再生可能エネルギー発電施設の整備に係る海洋海域の利用の促進に関する法律」に基づく法定協議会が設置され、促進区域の指定に向けた利害関係者との調整や事業者公募についての協議が開始となる。協議会において合意に至り、促進区域に指定されると、国による発電事業者の公募・選定が行われることとなるが、本市でも地球温暖化防止への貢献という側面とともに、岩船港の新たな利用や関連産業のサプライチェーンなど、洋上風力発電事業が地域経済に与える影響は非常に大きいと考えている。新潟県の北部海域における地域経済の拠点を形成できるように取り組みを進めていく。



事業想定区域(案)



建設を待ち望む人工芝多目的グラウンド

問

要望から7年経過しているが、現状と課題、今後の取り組みは。

答

公共施設マネジメントプログラムの中で、スポーツ環境の整備を進めていく。人工芝グラウンドの整備に関しても将来展望を含め、関係団体と意見交換を行い、整備の在り方を判断していく。

問

事業化が遅れている理由は。

答

一つは、庁内において政策決定に至るまで調整できなかった。またスケートパークなどの新設事業や改修工事があった。二つ目は年月が経過する中で整備の目的や在り方について地域との調整が遅れたこと。

問 事業の遅れ、市長の考えは。

答 署名された方の気持ちを思えば、遅れていることにじくじたる思いがある。優先する整備やメンテナンスなどがあり手が付けられなかった。

問

サッカー協会の要望は単なる競技場の建設でなく、地域活性化のための施設整備である。社会状況が変化している中、今一度仕切り直して、着地点を見いだしてはどうか。

答

整備の目的や各種団体、地域と意義を確認し政策決定する。

問

策定中のスポーツ施設整備計画がマネジメントプログラムに反映されるので慎重な審議を望む。

答

策定が遅れており、8月頃には答申を受ける予定。その中で、人工芝多目的グラウンドについても意見をいただく。



高田 晃議員

人工芝グラウンド建設計画

森林高等教育機関を村上で

問 総務省が策定した自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)推進計画に取り組むとのことだが、その内容について伺う。

答 自治体DXは本年9月のデジタル庁設立により、もたらされる情報量が加速するものと思われるので、自治体DX推進手順書に基づき、計画的に進めていく。「自治体情報システムの標準化・共通化」では自治体クラウドを含めた複数の導入手法に関する検討と情報収集を進めている。また、「自治体行政手続きのオンライン化」に関しては、介護関連と被災者支援の一部手続きについて、



鈴木 好彦 議員

マイナンバーカードを用いたオンライン手続きの提供を年度内に開始する予定である。さらに、「自治体のAI・RPAの利用促進」については、今年度、一部事務を対象にモデル的にRPA導入のためのプロセスを確立することで、今後の本格導入の準備を図っていく。

問 森林大学校設置についての考えを伺う。

答 知事は県の農業大学校で農業、林業、漁業を守備範囲とし、林業に関係した高等教育機関として位置付けたいと述べている。本市の森林は険しい地形が多く、道路も狭く大型機械での作業は厳しいものがある。そのため、索道技術が進化してきた歴史があり、この技術を後世に伝えるため、高等教育機関が重要であると思っております。

AIとRPAとは

AI : artificial intelligence (人工知能)
AI: の略 人間と同等以上の精度で、識別や予測等の判断を代行又は支援する技術。

RPA : Robotic Process Automation
(人間の代わりに業務を代行する自動化ツール)の略 ソフトウェアロボットによる業務のプロセスの自動化。パソコン等の端末上で人の動作をそのまま再現することで、定型的な反復作業を自動化する。

会派の結成状況をお知らせします

(令和3年4月1日現在)

◎会派代表者 *経理責任者

鷺ヶ巣会 (4人)

- ◎大滝 国吉 (山熊田)
- *鈴木いせ子 (中原)
- 河村 幸雄 (羽黒町)
- 菅井 晋一 (小川)

市声クラブ (4人)

- ◎木村 貞雄 (七湊)
- *姫路 敏 (瀬波浜町)
- 山田 勉 (坂町)
- 本間 善和 (寒川)

清流会 (3人)

- ◎川崎 健二 (北新保)
- *鈴木 好彦 (猿沢)
- 三田 敏秋 (長政)

高志会 (3人)

- ◎尾形 修平 (泉町)
- *小杉 武仁 (松原町二丁目)
- 鈴木 一之 (南町二丁目)

新政村上 (2人)

- ◎長谷川 孝 (岩船下浜町)
- *佐藤 重陽 (上町)

新風会 (2人)

- ◎川村 敏晴 (荒島)
- *高田 晃 (山居町一丁目)

無会派 (4人)

- 渡辺 昌 (塩野町)
- 稲葉久美子 (緑町一丁目)
- 富樫 雅男 (藤沢)
- 上村 正朗 (山居町一丁目)

高速交通等対策特別委員会 正副委員長を選出

新会派の結成に伴い、高速交通等対策特別委員会委員の交代がありました。4月28日に委員により互選が行われ、委員長に鈴木好彦議員、副委員長に大滝国吉議員を選出しました。

委員会の審査報告

◎は委員長
○は副委員長

総務文教

◎小杉 武仁 ○河村 幸雄
渡辺 昌 木村 貞雄
本間 善和 高田 晃
佐藤 重陽

◆村上市職員の給与に関する
条例の一部を改正する条例
制定について

問 職務分類表に社会福祉主
事、社会福祉士を追加した理
由は。

答 現在も資格を持っている
職員はいるが、社会福祉士を
配置することが定められてい
る職場もあるため、配置基準
を明確化するためのものでは
ある。社会福祉主事については
生活保護のケースワーカーを
専門職化していく考えである。
◆消防団消防用ポンプ軽積載
車及び小型動力ポンプ購入
契約の締結について

問 小型動力ポンプ更新後、
不要になったポンプの取り扱
いはどうなるのか。
答 従来どおり車両は公売で

対応しているが、ポンプは劣
化により、ほぼ廃棄している
のが現状である。自主防災組
織から譲っていただけはないか
との要望もあることから、今
後の検討課題と捉えている。
問 農業用水の濁水時に活用
したり、漁港でも網を洗った
りするときに使用できるもの
と考えられるが、農林水産課
と連携を図り、今後の利活用

小型動力ポンプの利活用を

方法を検討することも必要で
はないか。

答 農業用水の濁水期活用は、
河川の水を使うということから、
水利権の制約もあることから、
慎重な協議も必要となる。

◆村上市さんぽく会館改修増
築（建築本体）工事の工事
請負契約の締結について

問 複層のエコガラスによる
消費電力削減目標が20%削減
とのことだが、積算根拠は。
答 照明器具や空調機器の性
能から割り出した数字が20%

となる。

問 山北ゆり花会館と施設の
性質が似ているように思える
が、それぞれの役割は。

答 ゆり花会館は当時、公民
館的な部分もあったが温泉が
出た関係で福祉的ゾーンとし
て位置づけられており、さん
ぽく会館は公民館的な要素も
含めながら使用している施設
である。生涯学習センター機
能を併合させようとの意見も
あり今回の工事内容となった。

3年度一般会計補正予算

【歳入】

・諸収入

問 コミュニティ助成事業の
交付先は。

答 一般コミュニティ助成事
業は、佐々木区と宿田区で、
集会施設のエアコンやステー
ジなど備品関係を整備するも
の、コミュニティセンター助
成事業は北中集落センターの
新築事業採択によるもの、地
域防災組織育成助成事業では

緑町二丁目自主防災会で発電
機と投光器を整備するもので
ある。

【歳出】
・消防費

問 赤外線カメラ搭載ドロー
ンを補正予算で計上した理由
は。

答 昨年初めて1基購入した
が、活用にあたっての講習な
どで使用開始が遅くなった。
クマ等の対策の関係では、赤
外線カメラが必要となるため
補正でお願いするものである。



村上市スケートパーク

・教育費

問 スケートパーク経費の具
体的な事業内容は。

答 大会経費2種目分と、当
初予算に計上した初心者クラ
スにプラスして、ミドルクラ
スのスクールを約38回開く予
定の経費となり、さらなる高
度な技術習得を目指して地域
創生応援基金の目的に沿った
事業として提案した。

◆請願 1件

◆条例改正 1件

以上を中心に審査しました。

市民厚生

◎長谷川 孝○鈴木 一之
鈴木 好彦 上村 正朗
富樫 雅男 稲葉久美子
鈴木いせ子

◆村上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

問 国民健康保険法第59条に該当する刑事施設等に収容された方の減免分はどこが負担するのか。

答 収容中は国保税の納税は無い状態。また、給付についても国保を使つての医療費は掛かっておらず、負担が無い。

3年度 一般会計補正予算

〔歳入〕

・諸収入

問 オンライン資格確認関係補助金として、42万9千円が計上されているが、具体的な利用方法は。

答 受診時にマイナンバーカードを使うことで、国保や社会保険などの直近の資格確認が可能になる。

〔歳出〕

・民生費

問 障害者福祉費一般経費の福祉タクシー利用助成委託料について、新型コロナウイルススワクチン接種関連で追加交付する1人4枚のタクシー券は、何名分の計上か。

答 令和2年度配布済みの方が約640名であり、今回の配布見込み数は560名分である。

問 高齢者生活支援経費の外出支援サービス委託料について、新型コロナウイルススワク

外出支援サービスの拡充を

チン接種関連で追加交付する1人4枚のタクシー券は、何名分の計上か。

答 平成30年から令和2年までの実績が400名〜500名以内であるため、今回500名分を見込んでいる。

問 外出支援サービスは、要支援の方は対象にならないのか。

答 外出支援サービスのタクシー利用券交付対象者は、移動時に車いすを必要としている要支援または要介護認定を



福祉タクシー利用券および外出支援サービス利用券

・衛生費

問 コロナ禍での急患診療所の利用状況は。

答 患者の数は減少している。季節性インフルエンザ患者数も0であった。

◆請願 1件

3年度 特別会計補正予算

◆介護保険特別会計

以上を中心に審査しました。



村上市急患診療所(若葉町)

全国市議会議長会・北信越市議会議長会 永年勤続議員表彰受賞

全国市議会議長会および北信越市議会議長会から、川村敏晴議員が議員在職15年以上の特別表彰を受賞しました。



経済建設

◎川崎 健二〇川村 敏晴
姫路 敏 山田 勉
大滝 国吉 菅井 晋一
尾形 修平

◆市道路線の認定について

問 市民から市道認定の相談を待つのではなく、市が率先して私道を市道に認定していくべきでは。

答 道路として整備はされているが、市道になっていない路線がいくつかある。市でも状況は調査をしているが、私道は所有者の同意が必要となり、寄付をしていただくこととなる。相続などの関係もあり、なかなか認定できない状況にある。

問 相続などの複雑な問題は、行政に頼るしかないと思うが、市民と相談しながら一緒に進めるべきでは。

答 相続の関係や実質的な所有者など、できる限り調べているが、個人の権利が関係してくるところは、市では介入できないため、個人での対応と考えている。



小形除雪車(ロータリー1.5m級)

◆市道路線の廃止について

問 市道の機能を終えている路線については、払い下げを積極的に進め、未舗装の市道や維持補修の財源確保に努めるべきでは。

答 市道の廃止については、市道としての役目を終えているものは、積極的に廃止して払い下げ等を

市道の認定・廃止を積極的に

問 市道認定の際には測量が必要となるが、国有地の場合はどうなのか。

答 国有地については、基本的に国が管理したままの状態です。国に管理し、国土調査で境界が確定している。私道の場合でも確定している部分もあるが、その後分割したり、現地と形状が合っていない場合もあるので測量をしてもらい、財産をはっきりさせた段階でいただいている。

◆小形除雪車の購入契約の締結について

問 老朽化に伴う更新のことだが、指名業者3社の中に地元業者は入っていたか。

答 ロータリー除雪車という特殊な機械であり、地元で取り扱える業者がなかった。

問 4月15日に仮契約をされており、2カ月半も仮契約のままであるが支障はないのか。

答 11月末を納期として考

ており、議決を考慮した工程で進めている。

問 機械購入に対しての補助金はあるのか。

答 社会資本整備総合交付金で3分の2の補助がある。

3年度 一般会計補正予算

〔歳入〕

・諸収入

問 みなとオアシス越後岩船に設置される遊具はどのようなものか。

答 ユニバーサルデザインの

使用している。

問 遊具設置後の管理者は、

答 市が管理者となり、遊具使用に関しては安全に使用していただくために、国で定めている安全点検の指針などを活用しながら、点検、維持管理に努めていく。

◆市道路線の変更 1件

以上を中心に審査しました。



ユニバーサルデザイン複合遊具(イメージ)

令和3年第2回定例会 議決結果

令和3年第2回定例会が、6月7日から6月28日までの22日間の会期で開催され、市長側提案31件、議会側提案の請願2件、議員発議2件を議決し、閉会しました。

議案審議結果

議案番号	事 件 名	結 果	表 決	議案番号	事 件 名	結 果	表 決
請願第2号	後期高齢者の人間ドック助成を求める請願	採択	全会一致	議第45号	専決処分の承認を求めることについて（専第16号 令和3年度村上市一般会計補正予算（第2号））	原案承認	全会一致
請願第3号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	採択	全会一致	議第46号	専決処分の承認を求めることについて（専第17号 令和3年度村上市一般会計補正予算（第3号））	原案承認	全会一致
議員発議第1号	村上市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	原案可決	全会一致	議第47号	村上市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議員発議第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出について	原案可決	全会一致	議第48号	村上市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第35号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（稲葉 真知子氏：再任）	原案同意	全会一致	議第49号	消防団消防用ポンプ軽積載車及び小型動力ポンプ購入契約の締結について	原案可決	全会一致
議第36号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（坂垣 和伸氏：再任）	原案同意	全会一致	議第50号	村上市さんぽく会館改修増築（建築本体）工事の工事請負契約の締結について	原案可決	全会一致
議第37号	専決処分の承認を求めることについて（専第8号 村上市税条例等の一部を改正する条例制定について）	原案承認	全会一致	議第51号	村上市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第38号	専決処分の承認を求めることについて（専第9号 村上市国民健康保険税条例及び村上市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について）	原案承認	全会一致	議第52号	市道路線の認定について	原案可決	全会一致
議第39号	専決処分の承認を求めることについて（専第10号 令和2年度村上市一般会計補正予算（第17号））	原案承認	全会一致	議第53号	市道路線の変更について	原案可決	全会一致
議第40号	専決処分の承認を求めることについて（専第11号 令和2年度村上市情報通信事業特別会計補正予算（第2号））	原案承認	全会一致	議第54号	市道路線の廃止について	原案可決	全会一致
議第41号	専決処分の承認を求めることについて（専第12号 令和2年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算（第1号））	原案承認	全会一致	議第55号	小形除雪車の購入契約の締結について	原案可決	全会一致
議第42号	専決処分の承認を求めることについて（専第13号 令和2年度村上市国民健康保険特別会計補正予算（第4号））	原案承認	全会一致	議第56号	令和3年度村上市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	全会一致
議第43号	専決処分の承認を求めることについて（専第14号 令和2年度村上市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号））	原案承認	全会一致	議第57号	令和3年度村上市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議第44号	専決処分の承認を求めることについて（専第15号 令和2年度村上市下水道事業会計補正予算（第4号））	原案承認	全会一致	議第58号	専決処分の承認を求めることについて（専第18号 村上市指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について）	原案承認	全会一致
				議第59号	令和3年度村上市一般会計補正予算（第5号）	原案可決	全会一致

請願の審議結果

件 名	請 願 者	紹介議員	付託委員会	審議結果
後期高齢者の人間ドック助成を求める請願	（一社）全国年金受給者団体連合会村上年金協会 会長 中村 永大	佐藤重陽	市民厚生常任委員会	採択
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願書	新潟県教職員組合村上市岩船郡支部 執行委員長 星野 貴之	川村敏晴	総務文教常任委員会	採択

*請願は本会議で採決が行われ、全会一致または賛成多数の場合、採択されます。

意 見 書

●30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書

上記の意見書が第2回定例会で可決され、関係行政庁に送付されました。

人権擁護委員が決まりました

次の方が議会で同意されました。
(任期：令和3年7月1日～6年6月30日)



いなば まちこ
稲葉 真知子 氏(村上地区・再任)



いたがき かずのぶ
板垣 和伸 氏(村上地区・再任)

人権擁護委員は、人権擁護委員法の規定により、市長の推薦、市議会の同意を経て法務大臣から委嘱されています。法務局と連携して主に次の活動を行っています。

- ・人権相談を受け、問題解決のお手伝いをする。
- ・人権侵害による被害者を救済する。
- ・地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行う。

令和2年度 政務活動費 交付実績

1 会派の政務活動費(所属する議員1人当たり55,000円以内)

(単位:円)

会派名	交付申請額	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
鷲ヶ巣会	220,000	220,000	0	0	220,000
新政村上	220,000	220,000	0	0	220,000
清流会	165,000	165,000	0	0	165,000
高志会	165,000	165,000	0	0	165,000
新風会	110,000	110,000	0	0	110,000
合計	880,000	880,000	0	0	880,000

※新型コロナウイルス感染症対策の財源確保のため、令和2年度の政務活動費の内、会派分については返還しています。

2 議員の政務活動費(議員1人当たり55,000円以内)

(単位:円)

議員名	申請額	交付決定額	実績報告額	対象経費	返還額
上村正朗	55,000	55,000	214,000	55,000	0
菅井晋一	55,000	55,000	124,344	55,000	0
富樫雅男	55,000	55,000	138,752	55,000	0
高田 晃	55,000	55,000	151,761	55,000	0
小杉武仁	55,000	55,000	21,230	21,230	33,770
河村幸雄	55,000	55,000	63,030	55,000	0
本間善和	55,000	55,000	66,246	55,000	0
鈴木好彦	55,000	55,000	24,200	24,200	30,800
稲葉久美子	55,000	55,000	68,200	55,000	0
鈴木一之	55,000	55,000	39,820	39,820	15,180
渡辺 昌	55,000	55,000	25,465	25,465	29,535
尾形修平	55,000	55,000	24,200	24,200	30,800
鈴木いせ子	55,000	55,000	82,900	55,000	0
川村敏晴	55,000	55,000	137,013	55,000	0
姫路 敏	55,000	55,000	117,000	55,000	0
川崎健二	55,000	55,000	24,200	24,200	30,800
木村貞雄	55,000	55,000	56,179	55,000	0
長谷川 孝	55,000	55,000	95,230	55,000	0
佐藤重陽	55,000	55,000	54,938	54,938	62
大滝国吉	55,000	55,000	64,713	55,000	0
山田 勉	55,000	55,000	96,200	55,000	0
三田敏秋	55,000	55,000	33,220	33,220	21,780
合計	1,210,000	1,210,000	1,722,841	1,017,273	192,727

各会派および議員の収支報告書は、村上市議会のホームページでご覧いただくことができます。また、支出関係書類や領収書等については、議会事務局で閲覧できます。



広報特別委員会委員が
おじゃましました！



地元でリゾートしませんか！

まつざわ ともかず
松澤 智和 さん（瀬波温泉二丁目）

■自己紹介をお願いします

埼玉県さいたま市出身の55歳です。
2015年8月、瀬波温泉にテイクアウト&キッチンカフェ「TOTO passeggiata（トトパッセジャータ）」をオープンして、今年で7年目を迎えます。

■お店の名前の意味は

店名の「トト」は日本の幼児語で魚、イタリア語では幸運、ラッキーで、「パッセジャータ」は散歩を意味します。地元のお客様を中心に、新潟方面や山形県からのお客様にご利用いただいています。地産地消にこだわって、手作り出来たてをモットーにしています。

■移住され開業の地に選んだ理由は

海に対する憧れが強く、いつか海辺の街に住んでみたいと考えていました。以前旅行で訪れた時に見た瀬波海岸での夕陽が強く心に残っていたことと、開業に向けて良い物件に巡り合えたことが決め手となりました。

■松澤さんにとって村上市の魅力は

移りゆく季節を感じられ、緩やかに流れる時間の中で、心に残る思い出を作っていただける場所です。私の出身地は、「人形のまち」として有名なさいたま市岩槻です。村上と岩槻は同じ城下町で、友好関係にあったそうで、やはり縁があったのだと感慨深いです。

「シトラスリボン」をいただきました

（株）村上新聞社さんから当市議会へ、藤井折箱屋さん（小国町）で制作したシトラスリボンを無償提供していただき、シトラスリボンプロジェクトの趣旨に賛同する議員が着用し、6月定例会に臨みました。

シトラスリボンはコロナ禍での差別や偏見の防止を目的とする活動のシンボルで、シトラス色の3つの輪は〈地域〉〈家庭〉〈職場・学校〉を表しています。コロナウイルス感染が確認された方々、私たちの暮らしを守り、支えてくれる方々が、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と言い合えるまちでありますように。



令和3年 第3回定例会のお知らせ(予定)

8月17日(火)	請願・陳情の提出期限（正午まで）
8月31日(火)	定例会初日（本会議）
9月2日(水),6日(月) 7日(火),8日(水)	一般質問（本会議）
9日(木),10日(金)	総務文教常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
13日(月),14日(火)	市民厚生常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
15日(水),16日(木)	経済建設常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
22日(水)	一般会計予算・決算審査特別委員会
28日(火)	定例会最終日（本会議）

*この日程は変更されることがあります。
*開会時間は午前10時です。